

住民説明会等における発言内容

住民説明会（H15.10.16）

【質疑応答】

中村会長

それでは何点か確認をしたいということも含めて、後退したと申し上げたので、何処がどういうふうにお聞きになりたいでしょうから、何点か申し上げたいと思います。

まず、総量67万 m^3 についての解釈の問題であります。これは、従前、県の環境部でしてきたことよりも、何と言いますか、かなり後退しているという。そういう全てをこの中に含めて67万だという、そういう説明にはなっていないんですよ、今まで。ですから、ただこの中で回答は汚染されている土壌は別ですよと。そういうことは住民の方で言ってきたので、それは住民に対する一つには答えになっているかもしれませんが、その部分について住民と皆さん方の間で、若干というよりも、かなりの相違があるということですよ。

大日向副参事

私は、先ほどの説明、かなり時間がないということではしょって説明したものですから、説明不足になったと思います。67万 m^3 、これについては、前に土壌も含まれているという言い方、これは実際としては覆土に使われている土壌ということですよ。ですから、先ほども言いましたけども、地山についてはまだ一点しか、一地点しか確認されていないので、量としては把握出来ないのです。今後、実際に撤去していく段階で、地山まで撤去していく、廃棄物を。その時点で地山の調査をもう一回します。汚れているかどうか。そういうことをしていくことによって、もし地山が汚染されていれば、それはまた67万にプラスになるということですよ。ということで、別に私は後退はしていないし、進展もしていないと言いますか、と思っています。

中村会長

67万 m^3 を超えることが無いという感覚で、県の説明というのは一貫してきているわけですよ。そうではなくて、予想と言いますか、豊島にしても、45万といったものが今67万という、公表されているものはそういう数値になっていますよね。2倍近い、実際に撤去する量というものが増えている。

岩手県の場合も、約倍の量になっていると。それで、青森県の場合は67万が、いつまで経っても67万で、しかもその中に全部含まれているというような説明になるものですよ、住民というものは、何でその67万、最初67万と言ったから、この数字は変えられないという、変なあれを持っているじゃないの、ということになるわけですよ。だから、是非、100万以上になるのであればなんと、はっきり言ってくれれば良いのではないですか。

大日向副参事

67万については、いわゆる総量で、高密度電気探査をやって、いわゆる外外のラインのやつを調べていますので、67万は現在変わりませんよ、という話をしているわけですよ。岩手県も増えたのは、高密度電気探査とボーリングをやったから増えたのです。そのへんは中村さんの方がご存知だと思います。それから内容につきましては、現在、医療系廃棄物をやっております。ですから、特管物の量そのものは、今現在、医療系の円筒形の注射器とか、医療系の針が見付かったり、チューブが見付かったりしております。そういうものは全部特管物に入りますので、特管物は増える要素はございます。以上です。

【質疑応答】

伊藤さん

有害廃棄物の中には、金属類とか、そういった重いのが随分入っているはずですが。1 m³が1トンという計算になりますと、水と同じ重さ。あの廃棄物が全部水と同じ重さだという計算になるのですが。岩手県の方では1.1トンの計算だと。私はその方が妥当だと思うのですが、どんなものでしょうか。

山田副参事

色んな現場、RDF様物から、堆肥様物、色んなものが混じっています。堆肥様物というのは結構比重が小さいですから、そういう意味で平均的に比重1.0ということで計算はしています。

伊藤さん

それは分かりました。それも分かりました。私が問題にしているのが、今言いましたように、立米の話ではなく、1立米を何トンに換算していかなければならないのかという、その話です。つまり、岩手県側では、1.1トンの計算をしているんだと。1.1トンの方が正しいのであれば、この量が67万トンではなくもっと増えますから、80何万とかになりますから、当然、今の335万、これはもっと増えることになるんですね。それを心配して言っているのです。

山田副参事

県としては、先ほども言いましたように、比重1.0ということで、1 m³、1トンという換算をしています。

伊藤さん

岩手県の方は、そうすれば青森県から言わせれば計算間違いということになりますか。

山田副参事

それは埋まっている物が、埋まっているものの性状が、青森県、岩手県では違いますので。

伊藤さん

それだとまた意味が違います。岩手県のゴミは、堆肥様物とか土とか混ぜたものを押していったものですから、比重から言えば軽いものが多いのです。比重からいえば、あっちの方が青森県のものより軽いんですよ。それだとちょっと理屈に合わない。

山田副参事

その辺の岩手県さんの比重の計算の仕方、詳しくは聞いていませんが、青森県の場合は堆肥様物と言いますか、バークですね、そういうものが入っているということもありますので、大体そんな1.0位かなということで計算、1 m³当たり1トン位かなということで計算しています。

【資料説明】

事務局

掘削の範囲でございますが、これは先ほどのとおりAエリアということでございます。3-3ですが、掘削量の管理ですけれども、これまで67万1千 m^3 と、我々いろんな計画においても m^3 で数値を把握しておりましたけれども、これからトラック等で搬出をしますと日常の掘削量の管理はトンで行うということになります。トンで行いますと、 m^3 と数値が比重の関係で変わってきますので、掘削量は m^3 で確認をしながら、併行してトンでも確認していくと。 m^3 とトンの両方の数を押さえながら全体の進捗状況を押さえたいと考えております。これが撤去の範囲、先ほどの図面と同じです。

【質疑応答】

住民

それから、積込をする場合に、重量は量らないで量で多分行くんだらうと、そういうふうに先ほどの説明がございまして、本当に量だけの物か、その現場で重量も量って搬出するのか、あるいはそれを処理業者まで持って行ってからの重量検査で処理をするのか。その辺もきちっと説明をしていただきたい。

事務局

量の測定方法ですけれども、これは m^3 、掘削の方は m^3 で何 m^3 掘ったかということ把握しますし、トラックでは何トン積んだかと。 m^3 とトンと、片方ではなく両方で確認していくと。計測方法は当面現場にトラックスケールを設置するスペースがございませんので、中間処理施設で積み下ろしをする際に量を確定、何トン積んだかということを確認する。ただし、目安としてトラック自体に自重計、何トン積んだかというのが大体分かるような秤が付いておりますので、概ね何トンということになりますけれども、正式な数量はちゃんと検定を受けた、検査を受けた秤する必要がありますので、現場でトラックで大体何トンというのは分かりますけれども、正確には下ろす段階で秤で測って確定をしていくと。トンでも測定をするし何 m^3 掘ったかと、両方の数値を押さえっていくということでございます。

問(1) 廃棄物等の撤去計画における撤去対象廃棄物等の数量について

これまでの青森県の地元説明会や産廃特措法に基づく支障の除去等事業の実施計画から、撤去の対象とする廃棄物等は、不法投棄された廃棄物67.1万 m^3 と推計できていない汚染土壌と理解しておりますが、この撤去対象廃棄物等は立方メートル表記となっており、実際に撤去・処分された廃棄物量はトン表示となっています。合同検討委員会技術部会資料(※1)や岩手県の今年度の掘削撤去実態(※2)から、青森県側の廃棄物等もほぼ同様な廃棄物等であることから、廃棄物等の比重が1.0を超えるのは明らかと考えます。

これらのことから、推定できていない汚染土壌を合わせると、当初計画段階の撤去予定量を数十パーセント超え、場合によっては100万 m^3 にも及ぶことも予想されます。この点について、青森県としてはこれらに対してどのような見解をお持ちかをお尋ねするとともに、これまで撤去された廃棄物の比重調査を行った経緯があれば、その調査結果をお知らせください。

※1 平成15年1月14日開催第3回技術部会資料5

廃棄物等比重試験結果 1.066～1.419トン/ m^3
(一般の土質の80%)

※2 平成17年6月11日岩手県開催第12回原状回復対策協議会資料4

掘削数量2800.3 m^3 、重量3632.22トンより
比重は1.297トン/ m^3

答(1)

県境不法投棄産業廃棄物の量につきましては、ご承知のとおり国の同意を得た青森・岩手県境不法投棄事案に係る特定支障除去等事業実施計画の中に記載されておりますとおり、各種調査・分析結果から平均断面法により算出した結果、合計671,383立方メートルとなっています。

現在、不法投棄現場には運搬車輛の重量を計測するトラックスケールが設置されていないため、不法投棄現場から搬出する際には、廃棄物の体積で数量管理を行っております。また、搬出時に収集運搬車輛に対し交付するマニフェスト(産業廃棄物管理票)にも、廃棄物の体積を記入しています。

算出された不法投棄産業廃棄物の量も、不法投棄現場から搬出する廃棄物の量も、双方ともその体積により管理していますので、撤去にはなんら支障はないものです。

なお、青森県では平成16年10月に一次撤去エリア内の2か所において廃棄物の比重を調査していますが、それぞれ0.91と1.1という結果となっています。

【質問】

岩手県では、廃棄物等の比重の想定が0.7トンであったが、実績は約1.1トン/m³程度となり、実施計画を見直しするとのことである。

青森県においても、計画の見直しが必要なのではないか。

【回答】

本県では、現在のところ変更する要因はない。比重は約1.0である。

※ 田子町の要約では、「比重は、廃棄物の性状によって若干異なるが、およそ1.0（1トン＝1立米）と考えていただきたい。」と整理されている。【田子町ホームページより】

【質問】

水分調整を行うための石灰を混入しているが、そのことによって処理すべき廃棄物量が増えるのではないか。

【回答】

石灰の投入によって廃棄物から混入量以上に水分が抜けることから、廃棄物の重量が増えることはない。

※ 田子町の要約では、「水分調整のために混合している石灰量については、混合した石灰量以上に水分が飛散しているため、石灰を混合したことによって量的に増えることはない。このことから実施計画を変更する必要はないと判断している。」と整理されている。【田子町ホームページより】

【資料説明】

事務局

本計画では、単位体積重量を1 m³当たり1トンとして計画しております。したがって、現在、一次撤去が順調に進んでおりますので、本格撤去対象量は全体の67万1千トンから、一次撤去予定量の9万6千トンを差し引きました残りの57万5千トンということになります。

なお、この単位体積重量につきましては、処理の進捗状況に応じまして、国との協議を踏まえて見直すものといたしております。

【質疑応答】

伊藤さん

岩手県では、測定した数量を調べ直して、増えたんですね。ということがありましたから、全くこれから後も数量を調べ直す計画はないものかどうか、という点が1つあります。如何でしょうか。

鎌田室長

調査の方法ですが、今後、量が変わるんじゃないかということですね。今後調査しないのかということですが。今まだ、撤去して1割なんです。1割ですので、岩手県の方も調査しながら、国の方と相談して、もう少し掘ってから、時期を見て見直しをしましょう、ということになったそうです。

本県も、まだ増えるか減るかということですが、まだそれは可能性としてわかりません。

したがって、やってみないと、これからどういう具合に動いていくかということで、ある時期がきてから、その時期はいつということとは言えませんが、調査をしないで今のまま進めていながら、時期がきたらこの計画を見直すという具合にしていきたいと思っています。

伊藤さん

なるほど。そうしますと、その時点で、再調査した時点で数量が変わっていれば、当然、この撤去計画も変わるわけですね。

鎌田室長

はい、そうなります。

山本さん

先ほどの比重という所で分からなかったので教えていただきたいのですが。現場から持ち出す時の含水比の測定はどういうふうになっているのか。石灰を投入しておりますが、その重量のカウントは、総重量に対してどのような評価をしているのか、ということをもっと教えていただきたいんですが。

事務局

含水比は、日々天候によってばらつきがあります。まず、選別ヤードに最初持ってきますが、大体、含水率が50%弱になります。石灰を混合いたします。1 m³に30キロから50キロの石灰を混合しております。それを分別、ふるい分けしておりますが、ふるい分けした後、その含水率が40%くらいになっています。夏場の天気がいい時は、40%を切ることもあります。秋、冬、春などは、40%ちょっと超えるくらいの状況になっています。以上でございますが、よろしいでしょうか。

山本さん

今のお話、40%くらいとなりますと、含水比はちょっと高いのか低いのか、これはよく分かりませんが。ただ、ここで重要なのは、トン数、重さの管理はしていますが、容積管理はしていないのではないかと思います。現地から切り出す時に、1 m³分取ってきて、それに対してという評価をしているのであれば分かりやすいんですが。ほぐした状態の、空隙率が非常に高い状態で1 m³、1トンですよと。このような評価をしていますと、残っている量は相当数増えていくはずになるということが、実際起こっているんじゃないのかなと思います。そのところ、容積管理をしていないで、1トンですよというふうな形を言われますと、あまり信頼性に欠けるのではないのかと思います。そこについてコメントはどうでしょう。

事務局

掘削のボリュームにつきましても、大体の数値はおさえておりますが、日々の含水率なるものが非常に変化ありますし、水分の、石灰混合した後の含水率についても変化ありますので、今のところは、皆様には撤去した重量、ちゃんと精密に測ったトラックスケールでの重量を皆様に情報公開していると。今日のデータも正確な重量をお知らせしているという状況にあります。